



## はっぴ〜ライフ新聞

発行元:本社サポート部 担当者:山崎 高爾

【本社】株式会社はっぴ〜ライフ

〒180-0002  
東京都武蔵野市吉祥寺東町1-17-18三角ビルB1F  
tel:0422-28-5051 hp:http://hl.tokyo.com

【吉祥寺事業所】

はっぴ〜ライフ吉祥寺  
(1373301587)  
武蔵野市吉祥寺東町1-17-18三角ビル1F  
tel:0422-28-5061

【新小金井事業所】

はっぴ〜ライフ新小金井  
(1374100947)  
小金井市東町4-10-16  
tel:042-386-6381

ちよこっ

## 知ッ得☆ママ知識

よく耳にする・・・「バランスの良い食事」とは？  
毎日の食事に取り入れて頂けると良い物を以下にあげました☆

★タンパク質: 免疫で主役の白血球細胞や抗体の原料となります(肉類、魚介類、豆腐・納豆などの大豆製品、乳製品、卵、豆類)。

★緑黄色野菜: (つるむらさき・小松菜・つる菜・ら・菜花・からし菜・クレソン・かぶの葉・大根の葉・かぼちゃ、にんじん、ピーマン、ブロッコリーなど)。

★淡色野菜: (キャベツ・玉ねぎ・きゅうり・セロリ・大根・白菜・レタス) 最近は淡色野菜の免疫強化機能が注目されています。

★果物: (りんご、バナナ、みかん、いちごなど) を充分(1日200g:リンゴで1個、みかんで2個に相当)とりましょう(ただし、甘い果物はカロリーのとおり過ぎに注意して下さい)。

・・・と、まだまだありますが、残りの食材はまた次回☆

お身体お大事になさって下さい☆



## 今月のお知らせ

2月より、

はっぴ〜ライフケアセンター

(居宅介護支援事業所・訪問介護事業所)

の事業所が吉祥寺へ移転致しました。



【住所】〒180-0002

武蔵野市吉祥寺東町1-17-18 三角ビルB1F

【電話】0422-28-5051

\*今後とも宜しくお願い致します。

## 小濱道博

先生に訊く

コラム第七回

気になる制度改正と  
介護報酬改定。その中身とは？

介護報酬の改定率がマイナス2.27%と9年ぶりのマイナス改定が決まりました。この数字には、処遇改善加算のアップで+1.65%、新規加算+0.56%を含むので、現行の介護報酬は平均で▲4.48%となり、その計算式は1.65%+0.56%-4.48%=▲2.27%です。経営実態調査を前提として平均4%程度の利益率を確保するとされていますので、基本報酬で見るとサービスは6%、訪問介護は3%、特養は5%程度のダウンになりそうです。そのため、今後は如何に加算を算定するかが介護事業経営のポイントになります。新規加算の傾向は、認知症、重度者対応、効果が期待できる機能訓練さらには医療行為に絞られてきました。同時に、介護サービス以外で対応可能な生活援助や日中のお預かりサービスは総合事業や自費サービスに取って代わられる日が近づいています。介護サービス事業は、プロとして何が出来ることが求められ、職員もプロとしての専門知識、技能が無いと動まらない業界に変貌します。少数人の職員配置で高い満足を提供

する少数精鋭化が必須になります。ケアマネジャーも介護事業者の目利きが求められ、自身も認知症、重度者対応、機能訓練、医療行為に関する高い専門知識と絶え間ない勉強が必要です。次回の平成30年改定が大きなターニングポイントになります。今回は介護報酬と診療報酬の6年ぶりの同時改正となり、今回の制度改正と報酬改定はその順番に過ぎません。今回の対応の仕方次第で次回の平成30年改定以降の事業の存続の可否が決まると言っても過言では無いと考えています。「まずは何かやれ。話はそれから!」〜 フランクリン・ルーズベルト



小濱道博

小浜介護経営事務所 代表

NKK 一般社団法人日本介護経営研究会

専務理事

C-SR 一般社団法人介護経営研究会 専務理事

一般社団法人介護事業協議会 理事

C-MAS 介護事業経営研究会 顧問 ほか

## 今週のピックアップ

## 節分にちなんで・・・ボーリングで鬼退治!!

ボーリングで鬼を退治します！



鬼を退めて・・・思いつきおやつです！



お見事!! 全ての鬼を退治出来ました!



### 吉祥寺 事業所

今年も皆様元気に、活躍されています☆

お正月には、羽根つきを行い場で真っ黒なスタッフの顔に大笑い!! おやつ作りでは、3色だんごや白玉しるこなどを皆様で作りました! 自分達で協力して作ったおやつは、味も思いも格別です! 毎回、美味しく召し上がっています!!



吉祥寺事業所 tel 0422-28-5061 fax 0422-28-5062

### 新小金井 事業所

新年を迎えて一層皆様仲が深まり、笑顔多く過ごされています☆

クラフトでは、2月のイベント節分に向けての作品や、季節にちなみ雪の結晶づくりを行いました。完成した作品は、飾りはっぴーライフを彩っています! 「笑顔」を大切に、楽しく過ごしていきましょう!!



新小金井事業所 tel 042-386-6881 fax 042-386-6882

## 連載コラム「ものがたりの主人公は私達・・・」

国は在宅を推し進めています。最期まで我が家で過ごすことはそう簡単ではありません。病気を抱えた在宅は本人だけでなく家族にも大きな不安や様々な負担がかかります。今回は高山県砺波市にあるこれまでにない全く新しい発想の着取りの場所「ものがたりの郷」を紹介します。ものがたりの郷は病院や施設ではありません。家賃を払って入居する全個室の集合住宅で、より自宅に近い家庭的な空間で必要時に必要な医療と看護の支援を受けながら終末期をその人らしく過ごすことができます。病院でも施設でもない「終末期の場所」を築いたのは佐藤伸彦先生です。入居できるのは退院したものの在宅では介護が難しい人や、医療依存度が高く施設が受け入れてくれない人、つまり医療システムからは見き出された人です。ものがたりの郷は「在宅医療のバリエーションの一端」だと佐藤先生。「最後の最後までその人の生活を支え生きることが自分達の仕事」1人1人にそれぞれで歩んできた人生=大切なことがあります。佐藤先生は終末期を迎えている人達の「ものがたり」を大切にしながら1人の人として見守り寄り添う医療を実践しているのです。「お母さんいつも美味しい食事ありがとう」ある男性がノートに書いた一言です。それが認知症のために意思疎通が出来ないと同僚の人は思い込んでいましたがスタッフがペンを選んだところしつかりした文字でう書いたそうでした。この一言で家族はどれだけ救われたことでしょうか・・・

ものがたりの郷だけではなく佐藤先生は普段から約200人の訪問診療もしていて地域の人の相談に乗り医療や介護に繋げる役目も担っています。ここ20年以上自宅で最期まで過ごすことが出来る人が2割を切る中で佐藤先生達は砺波市で亡くなる10人に1人を在宅で看取っています。終末期で大切な場所は決してなく「途切れることなく」適切なサポートを受けられるかであり家族だけでなく医療や介護スタッフなど見守ってくれる「人」がいるかどうかだと思います。「最期まで」は医師の頑張りでだけでは実現できないと佐藤先生。共に働く訪問看護師さんやヘルパーさんの存在と地域の理解と協力が重要です。なにより大切なのは「ものがたりの」の主人公である1人1人が「最期までどう生きたいか」をイメージすることではないでしょうか。



フリーライター 町田 真由美  
小学館出版「おとなの雑学」編集 1995年 日本学生生活協会「おとなの雑学」編集 2004年 11月号 12月号  
フリーライターとして、その後の数年間は雑誌編集に携わり、雑誌「おとなの雑学」11月号 12月号 15月号  
2011年 フリーライターとして、雑誌編集に携わり、雑誌「おとなの雑学」11月号 12月号 15月号  
2012年 フリーライターとして、雑誌編集に携わり、雑誌「おとなの雑学」11月号 12月号 15月号  
現在はフリーライターとして、雑誌編集に携わり、雑誌「おとなの雑学」11月号 12月号 15月号  
現在はフリーライターとして、雑誌編集に携わり、雑誌「おとなの雑学」11月号 12月号 15月号